

<令和5年度予算（案）の概要の説明>

●令和5年度予算 主要な施策（資料7ページ）

令和5年度予算について、第七期帯広市総合計画の4つのまちづくりの目標と共通施策に沿って整理しましたので、これに基づき、「令和5年度予算のポイント」をご説明します。

はじめに、『ともに支え合い、子どもも大人も健やかに暮らせるまち』では、学童保育の待機児童の解消に向け、児童保育センターを追加開設するほか、令和6年4月から予定している子ども医療費助成制度の拡充に向けた準備に取り組みます。

また、弱視や聴覚障害の早期発見などに向け、屈折検査機器の導入による視覚検査の取組強化や新生児聴覚検査に係る費用の助成を行うほか、情報提供体制の充実と妊娠子育てのサポート体制強化のため、母子健康手帳アプリを導入します。

次に『活力とにぎわいと挑戦があるまち』では、

帯広市消防団川西第2分団詰所と上帯広農業センターの複合化施設の整備に向けた実施設計などを行うほか、森林環境譲与税を活用し、森林整備や林業の担い手確保などを支援します。

また、十勝の食の高付加価値化や首都圏などの十勝ファンの知見を地元企業の取り組みなどに活かす仕組みの構築などを行うほか、第35回国際農業機械展の開催支援やフードバレーとかち食彩祭2023を開催するとともに、新たな観光客誘致を図るため、世界各国から関係者が集まる Adventure Travel World Summit2023 北海道に参画します。

次に『ともに学び、輝く人を育むまち』では、

不登校児童生徒に多様な学びの機会を提供するオンライン学習プラットフォームや中学校のプログラミング教育を効果的に行うためのプログラミングコンテンツを導入するほか、南町中学校の長寿命化改修に向けた基本設計などを実施します。

また、十勝らしい家畜の展示とふれあい体験の充実のため、おびひろ動物園に馬ふれあい舎を整備するほか、学校給食の更なる魅力向上のため、地元シェフや生産者などと連携した新たなメニューの開発を行います。

次に『安全・安心で快適に暮らせるまち』では、

デジタル防災無線の更新に必要な通信方式を選定するための基本設計を実施するほか、停電時の避難所機能の強化を図るため、指定避難所に非常用発電機を整備するとともに、緑ヶ丘公園周辺エリアの価値や魅力向上に向けた、帯広少年院跡地の土地利用などに関する可能性調査を実施します。

また、市民生活の基盤となる道路、上下水道等のインフラを整備するほか、安全で快適な自転車通行空間を整備するため、ナショナルサイクルルートにおいて、矢羽根型路面標示及び自転車ピクトグラムなどを設置します。

最後に、『多様な主体が活躍する地域社会の形成・自治体経営の推進』では、

民間企業のデジタル人材を活用し、市民サービス向上に向けたデジタルサービス導入の検討など、行政のDX化を推進します。

また、姉妹都市との周年記念事業として、スワード市、松崎町、徳島市に訪問団の派遣などを行います。

●各会計予算総括表について（資料1ページ）

特別会計では、

国民健康保険会計は、保険給付費の増などにより、前年度6月補正後予算対比
4億3,487万1千円、2.7%の増。

介護保険会計は、保険給付費の増などにより、前年度6月補正後予算対比
4億1,402万8千円、2.6%の増。

ばんえい競馬会計は、勝馬投票券発売収入の増などにより、前年度6月補正後予算対比
50億549万3千円、11.2%の増。

企業会計では、

下水道事業会計は、施設設備改良費の減などにより、前年度6月補正後予算対比
2億8,728万3千円、3.5%の減。

●一般会計歳入総括表について（資料 3 ページ）

第 5 款 市税は、地方財政計画等を勘案し、234 億 391 万円を計上し、前年度 6 月補正後予算対比 4 億 262 万 8 千円、1.8%の増。

第 19 款 地方消費税交付金は、地方財政計画等を勘案し、47 億 6,729 万 3 千円を計上し、前年度 6 月補正後予算対比 2 億 5,796 万 3 千円、5.7%の増。

第 40 款 地方交付税は、地方財政計画等を勘案し、144 億 320 万 8 千円を計上し、前年度 6 月補正後予算対比 2 億 5,934 万 9 千円、1.8%の増。

第 60 款 国庫支出金は、地方創生臨時交付金や臨時特別給付金給付費の減などにより、前年度 6 月補正後予算対比 14 億 8,011 万 2 千円、8.5%の減。

第 70 款 財産収入は、土地売払の増などにより、前年度 6 月補正後予算対比 2 億 2,479 万円、366.1%の増。

第 75 款 寄附金は、ふるさと納税の返礼品などに係る経費の減により、前年度 6 月補正後予算対比 1 億 6,878 万 9 千円の減。

第 95 款 市債は、公営住宅建替事業費の増などにより、前年度 6 月補正後予算対比 2 億 3,486 万 5 千円、7.0%の増。

●一般会計歳出総括表について（資料４ページ）

第 10 款 総務費は、防災拠点施設等整備費の増などにより、前年度 6 月補正後予算対比 1 億 6,836 万 2 千円、5.9%の増。

第 15 款 民生費は、臨時特別給付金給付費や子育て世帯生活支援特別給付金給付費の減などにより、前年度 6 月補正後予算対比 8 億 9,409 万 1 千円、2.6%の減。

第 20 款 衛生費は、感染症予防費や看護師等養成所整備補助事業費の減などにより、前年度 6 月補正後予算対比 5 億 713 万 3 千円、13.9%の減。

第 30 款 農林水産業費は、農林業育成資金貸付金の増などにより、前年度 6 月補正後予算対比 1 億 6,911 万 7 千円、4.4%の増。

第 35 款 商工費は、地域消費喚起事業費や空港整備費の減などにより、前年度 6 月補正後予算対比 7 億 6,169 万 7 千円、9.2%の減。

第 40 款 土木費は、公営住宅建替事業費や新設改良舗装整備費の増などにより、前年度 6 月補正後予算対比 8 億 8,451 万 2 千円、19.1%の増。

第 50 款 教育費は、大空地区義務教育学校整備費や社会体育施設整備費の増などにより、前年度 6 月補正後予算対比 10 億 8,927 万 1 千円、20.6%の増。

第 65 款 職員費は、退職手当の減などにより、前年度 6 月補正後予算対比 1 億 3,827 万 8 千円、1.2%の減。

なお、これらの予算案につきましては、3月1日招集予定の議会に提案します。